

6 平成26年のハタハタの漁獲状況について

水産漁港課

本県のハタハタ漁は、沖合での底びき網と、一般に「季節ハタハタ漁」と呼ばれる沿岸での定置網及びさし網により行われている。

平成26年9月から翌年6月までの今漁期の漁獲可能量は1,680 tで、その内訳は沖合672 t、沿岸1,008 tとなっている。

これまでの漁獲状況は、以下のとおりである。

1 沖合の漁獲状況（底びき網）

(1) 9月15日から12月7日までの漁獲量は約213 tで、前年同期比約45%となっている。

(2) 魚体の組成は、中型の2歳魚が主体で、これに小型の1歳魚が混じっている。

2 沿岸の漁獲状況（季節ハタハタ漁）

(1) 12月3日に男鹿市船川港で約200kg、男鹿市北浦で約1.2 tの水揚げがあり、昨年より5日遅い初漁日となった。

(2) 12月7日までの漁獲量は194.1 tで、昨年より接岸が遅れたため前年同時期の274.4 tを下回っているが、これから盛漁期を迎える。

【12月7日までの地域別沿岸漁獲量（季節ハタハタ漁）】

地 域	平成26年	平成25年
県 北 部	32.4 t	54.97 t
男 鹿 北	90.1 t	90.76 t
男 鹿 南	70.8 t	118.97 t
県 南 部	0.8 t	9.71 t
計	194.1 t	274.41 t
(参考) 漁獲可能量	1,008.0 t	1,152.00 t
		※漁獲実績 897.87 t

(水産振興センター調べ)